

# 「バラ解説」をご利用いただくにあたり

この度はご採択を賜り、誠にありがとうございます。

つきましては、「バラ解説」をご利用いただく場合の留意点等、ご一読の程をお願い申し上げます。

## 従来「解答解説書」の問題点

- ・「解答解説書」を先に渡すと、「答え」を丸写しして…勉強にならない。
- ・かといって、1冊終えた後に渡しても…読まない。
- ・その都度「バラの解答解説」を用意しても…読まない。

★「解説」を読むことで学習効果上がるのに…読ませたい、考えさせたい。

## 「問題集」の「解説書」と「解答書」を分けたねらい

- 「バラ解説」でない場合の構成と使用例  
構成（本書1冊／解答書1冊／解説書1冊）  
・本書と解説書を同時に配布。

☆問題を解くにあたり、解説書を読みながら解きすすめていく…読む。

（「解答そのもの」は掲載していないので「丸写し」はできません）

1回ごとに配りたい場合

## 「バラ解説」の構成と使用例

- 構成（本書1冊／解答書1冊／バラ解説 問題数分／解答PDF）  
・本書の一題を解いた後、バラ解説（一回分）を配布。  
必要によって、本CD-R内の「解答PDF」を掲示。

☆問題はまず自力で解く。

頭に残っている内に、解説書を…考える、読む。

熟読する必要はありませんが、上記いずれの場合も「解説を読む」ことを習慣づけることにより、国語の設問に対する「既視感」や「気づき」等、大幅な学力の向上が期待できるはずです。

## 問二

① イタワリ ② ヨツテ ③ オモイケン ④ ワキマエズ

〈3点×4〉

## 問三

① ワ行エ段 ② ワ行オ段

〈3点×2〉

## 問四

(1)

〈1点×3〉

	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
ア行	あ	い	う	え	お
ヤ行	や	い	ゆ	え	よ
ワ行	わ	ゐ	う	ゑ	を

(2)

1 いる

2 すえ

3 かかく

〈1点×6〉

4 ゆうれい

5 ちょうど

6 おうぎ

## 問五

その膝に登り舐りまはる

〈6点〉

## 問六

(子犬のように) 主人にかわいがられたいと思った(から)。(15字)

〈10点〉

## 問七

イ

〈7点〉

問一

① 〓 和泉式部 ② 〓 和泉式部 ③ 〓 保昌 ④ 〓 保昌

〈2点×4〉

問二

A 〓 が B 〓 時 C 〓 を D 〓 が E 〓 を F 〓 が

〈2点×6〉

問三

鹿がひどく鳴いているので

〈8点〉

問四

② 〓 ア ③ 〓 エ

〈7点×2〉

問五

イ

〈8点〉

## 問二

(1)

〈1点×3〉

	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用行
㊦	いふ	い	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	ハ行
㊧	あやまつ	あやま	た	ち	つ	つ	て	て	タ行
㊨	負ふ	負	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	ハ行

## 問三

(2) 1 問は 2 問は 3 問は 4 問は 5 問は

① 子猿 ② 大猿

〈2点×5〉

## 問四

大猿が子猿を木の股に置こうとすること。(19字)

〈12点〉

## 問五

ア

〈7点〉

## 問六

ウ

〈8点〉

## 問二

㊦ || エ ㊧ || ア

〈3点×2〉

## 問三

- (1) ㊦ || ナ行下二段活用・已然形 ㊧ || ヤ行上二段活用・連用形 〈3点×3〉  
 ㊨ || ヤ行下二段活用・連体形

(2)

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
寝	(寝)	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ	ナ行下二段活用
過ぐ	過	ぎ	ぎ	ぐ	ぐる	ぐれ	ぎよ	ガ行上二段活用

## 問四

ウ

〈6点〉

## 問五

見つけることができない。

〈6点〉

## 問六

いとあまたゝもてゆかむ

〈8点〉

## 問七

口惜しき(4字)

〈5点〉

## 問八

エ

〈8点〉

## 問二

ア || ア    イ || ウ

〈3点×2〉

## 問三

〈2点×4〉

## 問四

(1) ア

〈6点〉

(2) ・鷹を手に据ゑたるほど(10字)

〈6点×2〉

・平笠を着たるほど(8字)

## 問五

エ

〈10点〉

## 問六

エ

〈8点〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
㊦	(見)	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用
㊧	(蹴)	け	け	ける	ける	けれ	けよ	カ行下一段活用
㊨	(着)	き	き	きる	きる	きれ	きよ	カ行上一段活用
㊩	(居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ行上一段活用

## 問二

ア

## 問三

① 〓 力行変格活用・連用形 ② 〓 力行変格活用・連用形  
 ③ 〓 力行変格活用・連用形 ④ 〓 力行変格活用・終止形

〈2点×4〉

## 問四

(1) ① 〓 力行変格活用・連用形 ② 〓 力行変格活用・連用形  
 ③ 〓 力行変格活用・連用形 ④ 〓 力行変格活用・終止形

〈1点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
来	(来)	こ	き	く	くる	くれ	こ(こ)よ	力行変格活用
す	(す)	せ	し	す	する	すれ	せよ	サ行変格活用
往ぬ	往	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	ナ行変格活用
あり	あ	ら	り	り	る	れ	れ	ラ行変格活用

(2) 1 〓 連用形 2 〓 未然形 3 〓 連体形

〈2点×3〉

## 問五

① 〓 イ ③ 〓 エ

〈3点×2〉

## 問六

その子を、こちらへ連れて来い

〈7点〉

## 問七

ア

〈8点〉

## 問八

兄との結婚の約束。(9字)

〈8点〉

## 問二

ア || エ    イ || ウ

〈3点×2〉

## 問三

a || エ    b || エ    c || イ    d || イ

〈2点×4〉

## 問四

(1) 基本形 語幹 未然形 連用形 終止形 連体形 已然形 命令形 活用の種類  
〈1点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
白し	白	(く) から	く かり	し ○	き かる	けれ ○	○ かれ	ク活用
悲し	悲	(しく) しか	しく かり	し ○	しき かる	しけれ ○	○ しかれ	シク活用
遙かなり	遙か	なら	なり かり	なり ○	なる かる	なれ ○	(なれ) しかれ	ナリ活用
堂々たり	堂々	(たら) たり	と かり	たり ○	たる かる	(たれ) けれ	(たれ) しかれ	タリ活用

(2) シク活用連体形

〈2点〉

## 問五

ウ (2) シク活用連体形

〈8点〉

## 問六

イ (2) シク活用連体形

〈8点〉

## 問七

〔筆策と歌を聞いて、〕敦兼の風雅な心映えを感じ取った〔点。〕(15字) 〔14点〕



花月草紙かげつそうし

本書 ↓ p. 18 / 解説書 ↓ p. 32

問二

ア ≡ 効果    イ ≡ 時

〈5点×2〉

問三

a ≡ エ    b ≡ ウ    c ≡ イ    d ≡ ア    e ≡ カ    f ≡ オ    g ≡ イ

〈3点×7〉

問四

自分が秋に病気になること

〈9点〉

問五

ウ・オ

〈5点×2〉

## 問二

ア || どうしようもない ① || 無駄である

〈3点×2〉

## 問三

② || 吠え（ヤ行下二段活用動詞「吠ゆ」未然形）／られ（受身の助動詞「らる」連用形）

③ || 思ひやら（ラ行四段活用動詞「思ひやる」未然形）／れ（自発の助動詞「る」連用形）

## 問四

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ	四段・ナ変・ラ変の未然形
らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ	右以外の未然形

(2)

1 || エ 2 || ア 3 || イ 4 || オ 5 || ウ

〈2点×5〉

## 問五

犬にまでも悟られた。

〈8点〉

## 問六

鬼に姿を変え、十二類がうろたえるときに、全員を食べてしまおう

（という「くはだて」）（30字）（8点）

## 問七

ア

〈10点〉

問二

㉞ 評価 ㉟ 事情・旨

〈3点×2〉

問三

㊱ 尊敬・連用形 ㊲ 使役・連用形

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×4〉

未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
す	せ	す	する	すれ	せよ	四段・ナ変・ラ変の未然形
さす	させ	さす	さする	さすれ	させよ	右以外の未然形
しむ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	未然形
サ変「す」	せ	す	する	すれ	せよ	

(2) 1 ㉞ ウ 2 ㉞ ア 3 ㉞ エ 4 ㉞ イ

〈2点×4〉

問五

(1) ウ ア

〈4点〉

(2) 京からこっそり取り寄せた水でふたたび昭乗に文字を書かせる(という方法。)(28字)

〈6点〉

エ

〈9点〉

問七

エ

〈7点〉

問二

ア お召しになる ① 思案する

〈2点×2〉

問三

① エ ② オ

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×3〉

未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
む	む	む	む	め	○	未然形
むず	○	むず	むずる	むずれ	○	未然形
べし	(べく)	べし	べき	べけれ	○	終止形
べから	べかり	○	べかる	○	○	(ラ変型には連体形)

(2)

1 イ 2 ウ 3 ア 4 カ

〈2点×4〉

問五

I 強盗「が」 II 奪い取った「小袖をわが物と思う。」

〈5点×2〉

問六

② ウ ④ エ

〈4点×2〉

問七

差し上げよう。

〈5点〉

問八

ア

〈6点〉

## 問二

六月・みなづき

〈2点×2〉

## 問三

① 〓 (言っても) 仕方がない ㊦ 〓 頼りにする・あてにする

〈3点×2〉

## 問四

③ 〓 過去・連体形 ⑥ 〓 過去・連体形

〈3点×2〉

## 問五

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
き	(せ)	〇	き	し	しか	〇	連用形 (カ変・サ変には未然形にも)
けり	(けら)	〇	けり	ける	けれ	〇	連用形

## 問六

イ

〈5点〉

## 問七

誰が一人で旧都に残ろうか、いや誰もいない。

〈6点〉

## 問八

多くの家が集まり栄えていたが、日が経つにつれ荒れていく様子。

〈30字〉

〈15点〉

問二

ア || 様子    イ || このような

〈3点×2〉

問三

① || 完了・連用形    ② || 完了・連体形

〈3点×4〉

問四

(1)    ③ || 完了・終止形    ④ || 強意・終止形

〈1点×4〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
つ	て	て	つ	つる	つれ	てよ	連用形
ぬ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね	連用形
たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	連用形
り	ら	り	り	る	れ	れ	※特殊

※「り」の接続…(サ変)型活用語の(未然形)及び、(四段)型活用語の(已然形(命令形))。

(2) 完了(存続)・連体形

縁側に腰掛ける無礼な態度をとったから。(19字)

〈2点〉

問五

エ

〈6点〉

問七

ウ

〈8点〉

14

説話

十訓抄  
じっくんしやう

本書 ↓ p. 30 / 解説書 ↓ p. 56

問二

㍿ || 仏道修行をする ① || 筆跡

〈3点×2〉

問三

㍿ || 受身・連用形 ㍿ || 意志・終止形

〈3点×4〉

㍿ || 使役・連用形 ㍿ || 打消・連用形

問四

1 || 尊敬 2 || 反実仮想 3 || 打消推量 4 || 願望

〈2点×4〉

問五

帝に先立たれ申し上げたので、

〈6点〉

問六

エ

〈5点〉

問七

帝の死を悲しむ涙。(9字)

〈5点〉

問八

ウ

〈8点〉

問 二

⑦ Ⅱ すばらしい  
⑧ Ⅱ ああひどい

〈3点×2〉

(1) ㊦完了の助動詞「たり」終止形

〈2点×2〉

③ 完了の助動詞「ぬ」連体形

問四

(2) 落ち(タ行上二段活用動詞「落つ」連用形)／に(完了の助動詞「ぬ」連用形)／けり(過去の助動詞「けり」終止形) (6点)

〈6点〉

1 Ⅱ いらっしやつたのだらう

〈2点×3〉

2  
|| あ  
つ  
た

3  
||  
たい

問五

ウ

#### 4点

問六

(1) 刈り落としてしまった。

4点

(2) 1 扇

4点

問七

211 身分をわきまえず無礼だと怒った（15字）

7点

イ

〈9点〉



- 問二 ㊦ || 一般に ① || めったにない 〈3点×2〉
- 問三 ㊦ || 婉曲・終止形 ㊦ || 存続・連体形 ㊦ || 推量・連体形 〈3点×3〉
- 問四 1 || 推定 2 || 打消推量 3 || 比況(例示) 〈2点×3〉
- 問五 逢坂の関の清水は走井と同じものではない。 〈6点〉
- 問六 ア 〈6点〉
- 問七 どうしてご案内申し上げないだろうか、いやご案内申し上げます。 〈6点〉
- 問八 エ 〈11点〉

問二

(a) ㍡カ (b) ㍡ウ (c) ㍡ア (d) ㍡イ (e) ㍡オ

〈2点×5〉

問三

エ

〈8点〉

問四

ア

〈8点〉

問五

食物足つて乏しきことなし

〈8点〉

問六

おっしゃるけれども

〈8点〉

問七

イ

〈8点〉

## 問一

(1)

① 地が震える

③ 幼い児

④ 動かない

⑤ 壇に登る

⑥ 大と小

⑦ 力を尽くす

⑧ 花が開く

⑨ 有ると無い

⑩ 固く辞する

⑪ 望みを失う

⑫ 教える

(2)

① ア

② ク

③ オ

④ ク

⑤ ウ

⑥ キ

⑦ イ

⑧ エ

⑨ キ

⑩ カ

⑪ イ

⑫ キ

## 問二

(1)

① オ

② イ

③ ア

④ エ

⑤ ウ

⑥ カ

⑦ オ

〈2点×7〉

〈1点×12〉

〈2点×12〉

## 問一

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
- ① 2 1 4 3 ② 3 1 2 4 6 5 ③ 1 6 2 4 3 5 ④ 4 1 3 2 6 5 ⑤ 2 3 1 4 7 5 6 8 ⑥ 1 5 6 4 2 3 7 ⑦ 8 1 7 4 2 3 5 6 ⑧ 9 8 1 5 2 4 3 7 6 ⑨ 11 1 9 2 7 8 5 3 4 6 10

## 問三

①点×9

## 問二

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
- ① 1 4 3 2 ② 3 1 2 4 6 5 ③ 6 1 5 2 4 7 ④ 6 5 1 1 4 2 ⑤ 2 3 1 4 7 5 6 8 ⑥ 1 5 6 4 2 3 7 ⑦ 8 1 7 4 2 3 5 6 ⑧ 9 8 1 5 2 4 3 7 6 ⑨ 11 1 9 2 7 8 5 3 4 6 10

## 問四

②点×8

- ① 果<sup>カシテ</sup>見<sup>ミ</sup>情<sup>ニ</sup>娘<sup>ル</sup>在<sup>ニ</sup>船<sup>ル</sup>中<sup>ニ</sup>。
- ② 上<sup>ニ</sup>行<sup>キ</sup>幸<sup>ニ</sup>河<sup>ニ</sup>東<sup>ニ</sup>祠<sup>ニ</sup>后<sup>ニ</sup>土<sup>ニ</sup>。
- ③ 申<sup>ニ</sup>子<sup>ニ</sup>請<sup>フ</sup>仕<sup>セ</sup>其<sup>ニ</sup>從<sup>ニ</sup>兄<sup>ニ</sup>官<sup>ニ</sup>。
- ④ 此<sup>レ</sup>魯<sup>ノ</sup>君<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>所<sup>ニ</sup>以<sup>テ</sup>劫<sup>カサレシ</sup>也<sup>ニ</sup>。
- ⑤ 太<sup>ニ</sup>守<sup>ニ</sup>与<sup>ニ</sup>客<sup>ニ</sup>來<sup>リ</sup>飲<sup>ム</sup>于<sup>ニ</sup>此<sup>ニ</sup>。
- ⑥ 臣<sup>ニ</sup>為<sup>ニ</sup>韓<sup>ニ</sup>王<sup>ニ</sup>送<sup>ル</sup>沛<sup>ニ</sup>公<sup>ニ</sup>。
- ⑦ 金<sup>ハ</sup>璧<sup>ハ</sup>雖<sup>モ</sup>重<sup>ニ</sup>宝<sup>ニ</sup>費<sup>ニ</sup>用<sup>ニ</sup>難<sup>ニ</sup>貯<sup>シ</sup>儲<sup>シ</sup>。
- ⑧ 不<sup>レ</sup>聞<sup>カ</sup>下<sup>ニ</sup>人<sup>ニ</sup>從<sup>リ</sup>日<sup>ニ</sup>迎<sup>ル</sup>一<sup>ニ</sup>來<sup>ル</sup>上<sup>ニ</sup>。
- ① 臣<sup>ハ</sup>君<sup>ヲ</sup>知<sup>ル</sup>るに非<sup>ズ</sup>。
- ② 沛<sup>ノ</sup>公<sup>ノ</sup>の軍<sup>ヲ</sup>を撃<sup>ベ</sup>破<sup>ス</sup>するを為<sup>ス</sup>さん。
- ③ 聖<sup>ノ</sup>明<sup>ノ</sup>の為<sup>ニ</sup>に弊<sup>ヲ</sup>事を除<sup>ク</sup>かんと欲<sup>ス</sup>。
- ④ 來<sup>ル</sup>所以<sup>ノ</sup>の者<sup>ハ</sup>は、君<sup>ノ</sup>の政<sup>ヲ</sup>迹<sup>ヲ</sup>を察<sup>ス</sup>せん<sup>ニ</sup>と欲<sup>ス</sup>するのみ。
- ⑤ 此<sup>ノ</sup>の言<sup>ハ</sup>小<sup>ナリ</sup>なりと雖<sup>モ</sup>、以<sup>テ</sup>大<sup>ニ</sup>に喻<sup>ス</sup>ふべし。
- ⑥ 其<sup>ノ</sup>の預<sup>メ</sup>見<sup>ル</sup>の明<sup>ニ</sup>有<sup>ル</sup>るを嘆<sup>ナ</sup>ぜざるは莫<sup>シ</sup>。
- ⑦ 外<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>公<sup>ノ</sup>の清<sup>ニ</sup>俟<sup>ニ</sup>なるを以<sup>テ</sup>美<sup>ニ</sup>と為<sup>ス</sup>さず。
- ⑧ 孟<sup>ノ</sup>母<sup>ハ</sup>は人<sup>ノ</sup>の母<sup>タル</sup>の道<sup>ヲ</sup>を知<sup>ル</sup>れり。

## 問二

㊦ ゆえん ㊧ まさに

4点×2  
1点×8

## 問三

(1)

未	書 未だ (「せ」ず) まだ (「し」ない)。
且・将	書 将に (「せ」んとす) もうすぐ (「せ」) だろう。 今にも (「せ」) なりそうだ。
当	書 当に (「す」べし) (「す」) するのが当然である。 (「す」) すべきである。
応	書 応に (「す」べし) きつと (「す」) だろう。 (「す」) のはずである。
宜	書 宜しく (「す」べし) (「す」) するのがよい。 (「す」) するはずである。 (「す」) すべきである。
須	書 須らく (「す」べし) せひ (「す」) する必要がある。 きつと (「す」) に違いない。
由・猶	書 猶ほ (「が」) ごとし ちようど (「が」) のようだ。
蓋	書 蓋ぞ (「せ」) ざる (「せ」) どうして (「せ」) しないのか。 (「せ」) したらどうか。

(2)

1 今にも私のこの志を奪おうとする。  
2 ちようど子供が父親に仕えるようなものである。

2点×2

## 問四

ア

## 問五

明

ラカニスルナリ

己

之

未

達

セ

## 問六

ウ

ル

12点

9点

9点

問二 問三

(1) ㊦ また ㊧ たた

〈4点×2〉  
〈1点×6〉

不(弗)ニ <sub>セ</sub> 一 <sub>セ</sub>	非(匪)ニ <sub>セ</sub> 一 <sub>セ</sub>	無(莫)・勿・母・亡ニ <sub>セ</sub> 一 <sub>セ</sub>	勿(無)・莫・母・亡ニ <sub>セ</sub> 一 <sub>セ</sub>	未 <sub>ダ</sub> ニ <sub>セ</sub> 一 <sub>セ</sub>
読書 <sub>ニ</sub> し <sub>セ</sub> ず	読書 <sub>ニ</sub> し <sub>セ</sub> ず	読書 <sub>ニ</sub> し <sub>セ</sub> ず	読書 <sub>ニ</sub> し <sub>セ</sub> ず	読書 <sub>ニ</sub> し <sub>セ</sub> ず
し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。
し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。	し <sub>セ</sub> ない。し <sub>セ</sub> でない。

問四 問五 問七

(2) 1 許さない 2 君子の道ではない  
3 利益がない 4 してはいけない 5 まだ来ていない  
有<sub>下</sub>執<sub>ニ</sub>長<sub>一</sub>竿<sub>一</sub>入<sub>ニ</sub>城<sub>一</sub>門<sub>一</sub>者<sub>上</sub>  
問六 私は聖人ではないが、

〈1点×5〉  
〈5点〉  
〈各8点〉  
〈10点〉



## 問二

- (1) ㊦ ともに ㊧ かくのごとし (と)

4点×2  
1点×5

不 <sup>レ</sup> 可 <sup>カラ</sup> ニ <sup>ス</sup>	書 <sup>レ</sup> 〔す〕べからず 〔不可能〕 <sup>レ</sup> できない。 〔禁止〕 <sup>レ</sup> してはいけない。
不 <sup>レ</sup> 能 <sup>ハ</sup> ニ <sup>ス</sup>	書 <sup>レ</sup> 〔する(こと)〕能はず 〔できない〕 <sup>レ</sup> できない。
不 <sup>レ</sup> 得 <sup>ニ</sup>	書 <sup>レ</sup> 〔する(こと)〕を得ず 〔できない〕 <sup>レ</sup> できない。
不 <sup>ニ</sup> 敢 <sup>ヘテ</sup>	書 <sup>レ</sup> 敢へて <sup>レ</sup> 〔せ〕ず 〔しようとはしない。〕 <sup>レ</sup> する勇氣がない。

問四  
問五  
問六  
問七

- (2) 1 莊撃つ(こと)を得ず。 2 敢へて視ず。  
群臣は更始にお会いすることができなかった。  
イ (1) 未だ知るべからず。 (2) まだ知ることができない。  
趙萌を訴えた役人が更始に殺されたこと。(19字)

2点×2  
7点  
各5点  
6点  
10点



## 問二

(1) ㊦ わかき ㊧ あごな

何(奚) <small>(スル)</small>	何をか <small>〔する〕</small>
誰(孰) <small>(スル)</small>	誰か <small>〔する〕</small>
安(惡・焉・奚・寧) <small>(スル)</small>	安くんぞ <small>〔する〕</small>
詔書	詔書

〈4点×2〉  
〈1点×3〉

(2)

1 ㊦ どちらがすぐれているか  
2 ㊦ どうして項伯と付き合いがあるのか

〈2点×2〉

## 問四

何と 同じように なる たい の か。

〈7点〉

## 問五

エ

〈7点〉

## 問六

イ

〈9点〉

## 問七

ア

〈12点〉



## 問二

- (1) ㊦ ㄥすなわち ㊩ ㄥついに

何 <sup>ヨカ</sup> (奚 <sup>セ</sup> ) ㄥ	書 <sup>セ</sup> 何をか <sup>セ</sup> ん(や)
誰 <sup>カ</sup> (孰 <sup>センヤ</sup> ) ㄥ	書 <sup>セ</sup> 何を <sup>セ</sup> か、いや何も <sup>セ</sup> ない。
安 <sup>クン</sup> (焉 <sup>セ</sup> ・悪 <sup>セ</sup> ・鳥 <sup>ヤ</sup> ) ㄥ	書 <sup>セ</sup> 誰か <sup>セ</sup> 、いや誰も <sup>セ</sup> ない。
	書 <sup>セ</sup> 誰が <sup>セ</sup> か、いや誰も <sup>セ</sup> ない。
	書 <sup>セ</sup> 安くんぞ <sup>セ</sup> 、いや誰も <sup>セ</sup> ない。
	書 <sup>セ</sup> どうして <sup>セ</sup> か、いや誰も <sup>セ</sup> ない。

ㄥ4点×2  
ㄥ1点×2

## 問四

- (2) 1 ㄥ誰が鳥の雌雄を知つていようか、いや誰も知らない。  
2 ㄥどうしてその子が必要としようか、いや必要ではない。  
いかんぞこれをさらん。  
自分を別の男性に嫁がせようとしたこと。(19字)  
どうして彼を捨て去ることができようか、いやできない。

ㄥ2点×2

## 問五

- (2) (1) ㄥ  
ア

ㄥ6点

ㄥ12点

ㄥ8点

ㄥ10点

## 問二

(1) ㊦ ㊦ それ ㊦ ㊦ のみ

何為レ(胡為・奚為) 〔セ〕ん(や)書 何為れぞ 〔セ〕ん(や)  
読 どうして 〔セ〕ん(や) か、いや 〔セ〕ん(や) ない。〈4点×2〉  
〈1点×3〉何必 〔セ〕ん(や)書 何ぞ必ずしも 〔セ〕ん(や)  
読 どうして 〔セ〕ん(や) する必要があるうか、いや 〔セ〕ん(や) ない。如奈・若 〔セ〕ん(や)書 〔セ〕ん(や) を如何せん  
読 〔セ〕ん(や) をどうしようか、いや 〔セ〕ん(や) どうする 〔セ〕ん(や) こともできない。

(2)

1 ㊦ 私はどうして生きることを望もうか、いや望みはしない。〈2点×2〉  
2 ㊦ 王はどうして利益を言う必要がありますようか、いやありません。

## 問四

鼠が食べ物を盗み、衣服に穴を開けるから。(20字)

〈12点〉

## 問五

これ「㊦ 飢え凍えること」はどうして鶏がいなことよりも心配しない  
だろうか、いや心配する。

〈7点〉

## 問六

之を若何ぞ夫の猫を去らんや(。と。)

〈6点〉

## 問七

ア

〈10点〉

問二  
問三  
問四

- (1) ア ㊦ ㊧ また ㊩ ㊪ ただ

〈4点×2〉  
〈4点〉  
〈1点×4〉

使 <sub>ム</sub> 二 A B	遣 <sub>ム</sub> 二 A B	命 <sub>ジテ</sub> レ A B	召 <sub>シテ</sub> レ A B
書 <sub>ム</sub> AをしてB〔せ〕しむ Aに〔を・をやつて〕Bさせる。	書 <sub>ム</sub> AをしてB〔せ〕しむ Aに〔を・をやつて〕Bさせる。	書 <sub>ム</sub> Aに命じてB〔せ〕しむ Aに命令してBさせる。	書 <sub>ム</sub> Aを召してB〔せ〕しむ Aを呼び寄せてBさせる。

- (2) 1 ㊫ 趙王使者をして楚に之かしむ。

2 ㊬ 梁籍を召して入らしむ。

〈2点×2〉

問五  
問六  
問七

- エ 親族〔は〕召し使い〔に、死者の着る衣服をすべて〕作らせ〔、
- 
- 当に禍害を免るべし。〕と。〕

〈6点〉  
〈4点×3〉  
〈12点〉

問二

しばしば

〈4点〉

問三

① 死ぬ ② ウ

〈3点×2〉

問四

(1)

〈1点×4〉

見 <sup>ル</sup> (被・為・所) ニ 一 <sup>(セ)</sup>	詔書 ゝる・ゝ 〔せ〕らる ゝれる。ゝられる。
A <sup>(セラル)</sup> ニ 於(于・乎) B 一	詔書 BにA〔せ〕らる BにAされる。
為 <sup>ル</sup> ニ A <sup>ノ</sup> 所 <sup>ト</sup> B <sup>(スル)</sup>	詔書 AのB〔する〕所と為る AにBされる。
封 <sup>(セラル)</sup> ニ 一	詔書 ゝに封ぜらる ゝに領土を与えられる。

問五

(1) (2) 人に支配される。  
聴されず。

〈6点〉

問六

(2) 皇甫規が、病気を理由に弟に位を譲ること。(20字)  
使者に胡芳にこつそりと告げさせて、

〈12点〉

問七

ウ

〈10点〉

30

思想

論話

本書 ↓ p. 62 / 解説書 ↓ p. 114

問二

㊦ ㊦ なり ㊦ ㊦ や

問三

言<sup>ハ</sup>不<sup>ル</sup>可<sup>カラ</sup>不<sup>ル</sup>慎<sup>マ</sup>也。

問四

ア

問五

其の死するや哀しむ。

問六

ウ

〈5点×2〉

〈8点〉

〈12点〉

〈8点〉

〈12点〉